

第9号

熱田高同窓会報

発行
愛知県立熱田高等学校
同窓会事務局
TEL (052) 652-5858

同窓会ホームページ
URL: <http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ
URL: <http://www.atsuta-haichi-c.ed.jp/>



創立五十五周年を終えて

同窓会会長 佐々木 元彦



会員の皆様には、益々ご健勝にご活躍のことと存じます。昨年、

十一月二十四日の熱田高校創立五十五周年記念同窓会総会並びに祝賀会の行事を、成功のうち無事終えることができました。この催しにご参加いただいた歴代校長・恩師・現職の先生、会員の皆様方、行事を企画し携わり支えていただいた方々に厚くお礼申し上げます。

本会は、五年毎の総会ですが、会を重ねる度に同期会の催も促進され、同期の絆が広がって行く様を拝見すると、若い回生の活気が伝播され、いよいよ頼もしさが湧き上がってまいります。

昭和二十八年、新教育制度のもと、モデル高校として誕生した本校は、卒業生数を二万三千名を擁す会へと発展しました。会員名簿も、発刊の度にページ数が当然ながら増し、六百ページを数える程、分厚くなりました。名簿に掲載されている同窓の仲間が、日本国の人材として諸分野で活躍されておられる様を想像すると、胸が熱くなります。

本会の目的は、規約第二条「会員相互の親睦をはかり母校の発展に寄与することを目的とする」とあります。同期生・先輩・後輩の関係など会員相互の縦横の絆と親睦を深め、母校のさらなる発展と、教育の振興に力を尽くすことではないでしょうか。どうぞ、卒年代表幹事の皆様、連帯と絆作りの為にご尽力ください。幹事の皆様のお力添え無くしては、クラス会・同期会・同窓会の存在はありません。次に迎える節目が平成二十四年の創立六十年記念になります。クラス幹事・回生代表幹事方、周年行事にむけて、絆を作りましょう。

さて、会報・ホームページは大切な情報交換の場と考えておりますが、毎年の会報発刊は財務運営上支障があり、寄付金を募っての発刊であります。ご協力を戴きたくこの場をお借りしてお願ひ申し上げます。

おわりに、皆様のご健勝とご多幸とともに実りある歳々とならんことを祈り、ご挨拶ご報告といたします。
平成二十年二月吉日

創立五十五周年記念実績

- 一、総会と祝賀会
- 一、会員名簿の作成
- 一、熱田高門扉等の塗装 一式
- 一、野外テーブル・ベンチセット 三組

熱田高校創立五十五周年を祝して

校長 澁谷 有人



本校創立55周年を期して昨年11月24日に開催された同窓会総会に

お招きいただき、感謝申し上げます。多くの同窓生の方々や先輩である旧職員の方々の、本校に寄せる熱い思いと溢れるエネルギーを浴びて、感激いたしました。改めて、責任の重大さを感じた次第です。

その際、現況報告の中で、生徒数や進路状況の説明とともに、校内の桜の紅葉や銀杏の黄葉が素晴らしく、今見頃であることや美術部の作品が名古屋港に展示中であることなど学校生活に触れたとき、同窓生の方々の目が輝いたことが印象的でした。懇談の中では、多くの方々からお声をかけていただき、「いつでも協力しますよ」と仰っていただきました。さまざまな立場で、社会をリードし活躍されている同窓生の方々の影響力の大きさを実感するとともに、母校を想う暖かい気持ちに触れて、心強く思ったことでした。早速、二期終業式で生徒に伝えました。さて、今年も部活動が活発で、多くの生徒達が日々練習に励み、様々

な活動をしています。このことが礼儀正しく豊かな心を持った生徒を育て、規律ある学校生活を維持する原動力になっていきます。そのような部活動を奨励するために、同窓会からは、定時制陸上部選手の全国大会出場への支援始め、多大なご支援をいただいていることに対し、誌面を借りて御礼申し上げます。

教育改革の流れの中で本校も大きな変化の中にあり、魅力ある学校づくりのために取組んでいるところで、そのような取組や学校の現状を、学校内外によく理解していただくことが必要です。遅れておりましたが昨年12月末に、学校からの情報発信の手段として、本校ホームページを開設致しました。今後は、学校の様子をリアルタイムにご覧いただき、同窓会のサイトともリンクして多くの同窓生に利用していただけるよう充実させたいと考えています。今後とも、ご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



創立五十五周年記念

平成十九年十一月二十四日(土)午後二時、名古屋国際ホテル二階フロアーを借り切ったの会場で、参加者三百五十余名が集いました。第一部、同窓会総会は、三回生岩渕正憲副会長と二十六回生近藤かおり監査の二人による司会で式辞第に従って、佐々木元彦会長の式辞、ご来賓代表の第四代日比野文一校長の祝辞、第十四代澁谷有人校長の熱田高の現状等についての報告があり、次に同窓会の経過報告、会計報告・規約改正の審議と順調に勤め終了できました。二部は、十九回生恒川良三監査の司会で、創立五十五周年祝賀会に移

りました。第九代日下英之校長の乾杯の音頭で祝宴を始めました。久しぶりに会った恩師の皆様・同期生や先輩・後輩との懇談が和やかにぎやかに進行し、途中、舞台では職員・回生・クラブ等々の記念撮影などがありました。校歌を十八回生近藤早苗先生の指揮のもと、肩を組んで声高らかに歌うグループなど、全員で斉唱しました。終わりに、次回の五年後の再開を約し、第十一代村本邦夫校長のご発声で万歳三唱を唱和し盛況のうちに幕を閉じることができました。



▲佐々木元彦同窓会会長の式辞



▲歴代校長 (左より) 日比野文一・日下英之・村本邦夫・神野秀雄・澁谷有人)

その後、ホテルの全ての会議室を使用して各回主催による同期会が開かれ、噂によれば三次会まで実施した回生もあった模様です。

役員会では、総会と祝賀会の開催のために約一年間の準備期間を設け、事業内容等について検討してまいりました。なかでも会則の第三条「名簿及び会報の発行」のうち会員名簿の発行についての論議に、相当のエネルギーを使いました。前号で触れましたが、平成十七年の「個人情報

保護法」関係で名簿の発行は考慮しなければならぬと述べました。役員一同重ねての慎重審議の結果、名簿の発行を結論といたしました。購入された会員の皆様、どうか名簿が悪用されたり、転用されたりすることの無いように心くばりください。すすようお願ひ申し上げます。今回は名簿の残余はありません。(事務局より)



同窓会役員

(平成20年4月1日より)

- 会長 佐々木元彦 (1回卒)
- 副会長 波田 忠 (1回卒) 中野 道孝 (2回卒)
 岩淵 正憲 (3回卒) 豊田 和弘 (4回卒)
 西田 和子 (5回卒) 万前 秀男 (6回卒)
 小林 勝治 (7回卒) 井上 亜夫 (8回卒)
 武藤 史子 (9回卒) 内藤 明広 (10回卒)
 谷澤 伸 (11回卒) 今井 康幸 (12回卒)
 真木 伸一 (13回卒) 木下 正仁 (14回卒)
 石田 直城 (15回卒) 伊藤 武博 (16回卒)
 柿崎 賢一 (17回卒) 山口 直彦 (18回卒)
 木村 隆秀 (19回卒) 高岸 都夫 (20回卒)
 佐々木 博 (21回卒) 奥田 隆庸 (25回卒)
 近藤かをり (26回卒) 安井 公司 (30回卒)
 板倉 進 (32回卒) 安中 富一 (定1回卒)
- 書記 宮田 忠男 (10回卒) 小倉美津夫 (16回卒)
 丹羽美穂子 (定1回卒)
- 会計 江村 雅夫 (4回卒) 小島 治夫 (6回卒)
 杉山 交世 (10回卒) 永井千恵子 (定1回卒)
- 監査 山田 周一 (13回卒) 神谷 和雄 (15回卒)
 恒川 良三 (19回卒)
- 学校幹事 勝野 恒光 (11回卒) 山田 章二 (12回卒)
 伊藤 哲夫 (13回卒) 青木 実 (14回卒)
 浅野 朋子 (18回卒) 鈴木矢代子 (21回卒)
 川辺 浩 (23回卒) 阪野井智夫 (25回卒)

同窓会総会・創立55周年記念 収支決算報告

[収入の部]	名簿協賛広告掲載 54件	1,750,000
	賛助金(記念募金)@5,000円×96	480,000
	会員名簿販売 308件	1,573,400
	総会・祝賀会参加費@10,000×246名	2,460,000
	同総会基金より	6,575,568
	計	12,838,968
[支出の部]	熱田高校へ周年寄付事業 2件	914,840
	会員名簿製作関係費用	7,350,000
	同期会開催促進の援助費(7期分)	227,801
	各種準備会 会合費用 8件	809,331
	名古屋国際ホテル(総会)諸費用	2,891,452
	総会諸雑費 7件	378,003
	通信費 17件	131,222
	諸雑費 29件	136,319
	計	12,838,968

平成20年1月30日 上記のとおり、周年行事の会計報告をします。

会計代表 江村 雅夫
 監査代表 神谷 和雄

がんばれ熱高生

団塊の世代が還暦をむかえました。

高度経済成長・経済大国へ、先頭に立って走ってきた世代です。

昭和の時代に地上の星となった世代でしょう。

昭和も終り、バブル経済は崩壊し、戦後から続いた冷戦体制も終焉し、グローバル化の中で、戸惑い平成を生きている団塊の世代と思われれます。

でも彼らは「always三丁目の夕日」を懐かしみつつ、簡単には消えない、しづとい世代だと思えます。

還暦をむかえた11回生に原稿を依頼し、その心の内を語ってもらいました。

音楽と仕事のコラボレーション

11回生 中村 日出夫

皆さんから、「良い趣味を持っていきますね」とよく言われますが、私にとって音楽は切っても切れないものです。

今から48年ほど前、中学の吹奏楽部の入部には厳しい条件がありました。それは、「命ある限り、音楽を続けられますか。」と言うことでした。そして、卒業してからも毎週1回、演奏会が近づく週2回の練習をして、昨年は、エバークリーンズオーケストラ結成45周年記念演奏会を市民会館中ホールで開催することが出来ました。今回は50周年記念演

奏会を予定しています。まさか、誰もこんなに永く音楽を続けるとは思っていなかったと思います。

私の仕事は建築業で「住まいを通じて、一生のお付き合い」をモットーに家を立ててから、それが無くなるまでお付き合いを続けて行きたいと思っています。そのお客様とは仕事だけの関係でなく、音楽を通してのお付き合いもしています。

お客様を演奏会にご招待したり、娘さんや息子さんの結婚式の披露宴で出演させて頂いたり、イベントや祝賀会に頼まれ演奏をしたりしています。要するに、趣味の音楽でお客様に喜んでいただけ、それが仕事にも大変役に立っています。すでに還

暦を迎え、定年退職したメンバーもいて、より高価な良い音の出る楽器に買い換え、こよなく良い音を求めて練習に励んでいます。良い趣味を持ち続けたのは厳しい条件のお陰です。恩師に感謝しています。



エバー=グリーンズ

老後にいつ

11回生 増田 一晴

『おひとりさまの老後』という本が売れている。筆者は社会学者の上野千鶴子。私と同じ一九四八年生まれだ。発売当初から、これは売れると直観した。自己紹介がてらにえば、私は長年、広告業界に身をおい

てきた。このへんの嗅覚は鋭い。気にかかると、買わずにおいた。この数年ブームの感のある「団塊の世代」関連本を読まないのと同じような理由からだ、と、理解されて差しつかえない。

この稿を書くために、最低限読んでおくべきと考え、とうとう買って一晩で読んだ。内容は買わずに思い描いたものと、そんなには誤差はない。キャリアアウーマンの歯切れのよい文章は印象に残った。でも、文中にある同じ社会学者の鶴見和子のほうがもっと好きだ。

さて、老後である。私の老後にいつである。高齢者（老人）とは65歳以上を指しているが、後期高齢者すなわち75歳以上ともなると、同書にあるように「おひとりさまは女ばかり」となる。私は世間体について、老人になるまで、あと5年余り。老後をどう過ごすか、5年の猶予期間があるわけだ。私は成り行きとしかいいようがないが、「ずーっとおひとりさま」。ひとりには慣れ親しんでいる。これは同書の内容にそっていえば、私の唯一の強み、と思いたい。

一方、弱みのほうは綿々である。いま84歳の母と二人で暮らしているが、老後介護という言葉が仮借なく、現実のものになりつつある。



勝浦の増田一晴さん

この五月末で福祉系大学に勤めて十年。広報を四年間担当していたので、介護・福祉分野の組織・団体、マスコミ記者とも接触があった。一般社会人よりも事情が明るいはずである。それでも、私の母や交通事故で障がい者になってしまった甥っ子に対して、無力を感じる。家族・親類という親しい他者は言うに及ばず、自分自身に対しても心もとない。われながら弱い。そんな中で、同書のまとめとしていうように「おひとりとさまの死に方五カ条」は現状、ひとつも準備できていない。準備はおろか、それなりの覚悟もできていない。あさって生まれて初めて、人間ドックで受診する。ガン宣告を受けたらどうしよう、好きな酒ものめ

なくなったらどうしよう、あらぬ不安が師走から正月にかけて、心の底に重く沈殿したままだ。

死は生の完成、とだれかが言った。死生観に関する社会人向け講座を大学の仕事でも考えたことがあり、まったく無縁ではない。でも、内実は弱みだらけ。

この数年、老後について考えると、常に私のところを占めていたのは、八百年以上前に生を貫いた西行のことである。七十三歳で入寂。死ぬ四年前には、二度目のみちのくへの旅を敢行。奈良の重源上人から依頼を受け、東大寺大仏殿再建のための砂金勧進が目的だった。人生五十年にも満たない時代であったろうから、西行は心身強く、文武両道、今という「健康長寿」そのものだった。今ならさしずめ日野原重明さんか。西行には八百年余りの時を経て詠まれる有名な歌がある。

願はくは 花の下にて 春死なん
そのきさらぎの 望月のころ

これは、辞世の歌ではない。西行より後年生きた芭蕉が五十一歳で詠んだ「旅に病んで 夢は枯野を かけめぐる」は辞世の句である。

私の広告の師匠であった方は、鎌倉・円覚寺にねむっている。墓石の銘は「旅」だ。人生は旅。私も最期

は見果てぬ夢を求めて、都塵のなかを駆けめぐるのでろうか。

西行の歌が示すのは、覚悟である。

上野さんの言葉でいえば、「おひとりさまの準備」である。西行にはこれ以上ないという周到な準備、周到というより精神的な鍛錬、精神的な昇華というようなプロセスがあったようだ。当時、その死を知って「ねがひおきし 花の下にて 終わりけり 蓮の上も たがはざるらん」と詠んだ人がいるのだから。

私は、ただ感嘆する。今では「桜の下で死なん」と浮世離れと思いきや、樹木葬というのがあるそう。桜の下は今では病院か。



事務局便り

会報基金のお願い

前回、会報基金の募金をお願いしました。結果、募金は、七五一口、一、五〇二、〇〇〇円でした。ご寄付いただけた皆様は別記掲載のとおりです。

全会員への会報配布経費は約二百五十万円程かかり、毎号本会より百万程の出費が必要です。毎年発行することが望ましいのですが、財務上無理が生じます。会員の皆様のご協力の協力がいただければと願っております。同封の郵便振替用紙で、一口二千元でご寄付下さるようご協力をお願いします。会報基金の現在残高は、九四五、〇一二円です。

郵便振替口座

名古屋〇〇八三〇一八一八五二二一

愛知県立熱田高等学校同窓会

計報

藤野源治校長	平16・11・18
安積正雄校長	平17・4・13
朝長敬雄先生	平17・7・23
古田好雄先生	平17・8・8
鈴木元一校長	平19・5・14

ご逝去に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げると共にお知らせいたします。(係より)

クラス幹事の皆様へ
計報は悲しい出来事ですが、事務局まで葉書でご連絡ください。

熱田高校の今

教務では今

昨年の未履修問題が全国的に大きくマスクミ等に取り上げられたことは会員の皆様もご存じのことと思います。本校においても愛知県教育委員会から学校訪問があり、資料等が調査されましたが問題なく終えることができました。

さて本校においては現在、平成二十年度の教育課程を検討しております。新たな学習指導要領における新教育課程は二〇一一年より実施される予定ですが、保護者・生徒にわかりやすい教育課程にするべく委員会を開き検討を重ねております。また、一・二年生は来年度の科目選択の本登録の時期を迎えております。生徒一人一人が、自分の進路実現に向けて、どの科目を選択するべきかをしっかりと考えて選択してもらいたいと考えています。

高校生の基礎学力の低下と家庭学習時間の減少がいわれておりますが本校においても、すぐに解決できる問題ではありませんが、少しずつ効果を上げる指導方法の工夫を教職員一同で情報交換をしながら取り組ん

でいます。今年度は三学年ともにシラバスに近いものを一学期の終業式に生徒を通じて配布することができました。現在、来年度の三学年のシラバスの配布に向けて、書式等の検討をしております。シラバスの配布をきっかけにして熱高生が家庭学習の時間をさらに増やしてもらいたいと考えております。

(加藤 厚子)

生徒指導をみつめて

早いもので、私が熱田高校に赴任してから19年を迎える。当時の頃を思い起こせば、熱田高校の生徒は「自由」というものもしっかり理解し、自主自律をめざし日々目標達成のために学校生活を送っていたと思う。現在は少子化、情報化など社会の背景も大きく変化してきた。生徒を取り巻く環境も大きく変化し、規範意識の低下・社会性の欠如・無気力化など教育の現場も大きな課題が浮かび上がってきた。熱田高校も例外ではなく、「自由」をはきちがえてきている生徒、目標を見失い無気力な生活を過ごす生徒が増えてきて

いる気がする。

そんな中で、今年女子柔道界ではすばらしい記録がうまれた。それは「田村で金、谷で金、ママになって金」の発言で知られる「ヤワラちゃん」こと谷亮子選手が、出産のブルックを見事乗り越え世界柔道選手権で金メダル獲得を実現したことだ。これは、なみだいていの努力でかなうものではない。血のにじむような努力と、それを支える精神力、周りの理解と協力があつたからこそである。

熱田高校も55周年を迎えた。今までに数多くの卒業生を輩出し、数え切れないほどの先生方にもお世話になつてきた。年が経てば変化はあるであろうが、熱田高校の生徒が自主自律をめざし、日々鍛錬し、女子柔道の谷選手のように自己のさらなる夢を追いかけて学校生活を送ることを願うとともに、何年経っても「夢を追いかけろ」、そんな熱田高校の生徒を見ていきたいと強く願っています。

(八木 敬彦)

PTAと同窓会

あと数年で定年というところで総務主任を仰せつかりPTAの方々と関わらせていただくことになりました。十年ほど前には夢想だにしな

かったことです。管理職の先生と一部の先生だけが携わってみえるものと思っていました。しかし、いざ自分がその任に当たると保護者の方々の生の声が直接聞こえてきます。そもそもPTAというものは「父母と教師の会」なので我々一般教員も積極的に関わっていくべきだと思います。生徒諸君を教員と保護者と同窓会が全力を挙げてバックアップしていくのが理想的な学校であると思います。

さて、本校の正門を入ると五十年の記念モノUMENTが目に入ります。学校案内には制作者の言でその意味するものが述べられていますが、「オレ流」の解釈をさせていただきます。真ん中の球は生徒諸君を表すのですが、台座は彼らを支える教師の集団、支えの一方は保護者であり、もう一方は「同窓会」であつて、普段は生徒諸君の視界にはなかなか入ってきません。この両側の支えは、優しく生徒諸君を包み込んで慈愛の目で見守ってくれるものであつて熱田高校の教育活動にはなくてはならない存在です。

(平松 良行)



進路指導部の当面する課題

先輩方が在籍されていた頃と同じく部活動が活発であり、7割近くの生徒が第3学年まで頑張つて活動しています。県レベル以上の大会に出場している部活動も多く、喜ばしい限りです。

しかし、学習時間があまり確保されておらず、学習と部活動の両立ができていない生徒も見受けられるようになり、入試の間際にならないと進路決定の行動に移せない、進路意識の稀薄な生徒も近年増加しているように思われます。

さらに、国公立大学が目指せるだけの学力をもちながら、私立大学を合格した時点で、受験勉強の苦しきから逃げてしまい、最後まで頑張り切れない者も少なからずいます。低学年のうちから進路意識の高揚をいかに図るかが課題となつてきています。

資料として『最近5年間の卒業生の進路別実数(現役生のみ)』『進学率と地元主要大学の合格者の数(延べ数)』『過去3年間の国公立大学合格者数』を載せておきます。

(近藤 慶)

最近5年間の卒業生の進路別実数(現役生のみ)

Table with 11 columns: 年度, 4年制大学 (国公立, 私立), 大専科, 短期大学, 専門学校, 就職 (公務員, 一般企業), 家事従事, その他, 浪人, 合計. Rows for years 14 to 18.

進学率と地元主要大学の合格者の数(延べ数)

Table with 15 columns: 年度, 大学%, 専門%, 南山, 愛知, 名城, 中京, 愛知学院, 愛知工業, 中部, 愛知淑徳, 金城学院, 相山, 国公立, 浪人. Rows for years 14 to 18.

過去3年間の国公立大学合格者数

Table for 18年度: 現役生 14, 名古屋 2, 名古屋工業 2, 信州 2, 三重 1, 山梨 1, 名古屋市立 1, 福井県立 1, 首都大学東京 1, 前橋工科 1, 高崎経済 1, 長崎県立 1, 浪人生 6, 名古屋工業 1, 愛知教育 1, 豊橋技術科学 1, 信州 2, 静岡 1.

Table for 17年度: 現役生 12, 名古屋工業 1, 金沢 1, 信州 1, 岐阜 1, 静岡 2, 三重 2, 宮崎 1, 愛知県立 1, 愛知県立看護 2, 浪人生 8, 愛知教育 1, 岐阜 1, 三重 2, 山形 1, 大阪 1, 福井県立 1, 岐阜薬科 1.

Table for 16年度: 現役生 19, 名古屋 1, 名古屋工業 1, 富山 1, 金沢 1, 信州 1, 岐阜 1, 静岡 1, 三重 3, 鳥取 2, 山口 2, 愛知県立 1, 名古屋市立 2, 小樽商科 1, 防衛大学校 1, 浪人生 12, 名古屋工業 1, 愛知教育 3, 岐阜 1, 静岡 1, 三重 2, 新潟 1, 大阪教育 1, 愛知県立芸術 1, 名古屋市立 1.

生徒会活動の近況報告

部活動の活躍について

例年のように運動部の加入・参加率は良く活発に活動している。文化部については、吹奏楽部以外は加入・参加率がやや低迷の傾向である。その中、演劇部が中部日本高校演劇大会で県大会出場で活躍し、囲碁部が愛知高文祭囲碁大会でグループ優勝した。

運動部では愛知県高校総体において、女子バスケットボール部・男子テニス部・陸上競技部が県大会出場で活躍した。市内県立高校大会では、軟式野球部・女子テニス部が優勝し、女子バスケットボール部・男子テニス部・男子剣道部が準優勝した。サッカー部がプリンスリーグ東海二部で6位入賞し、名南支部サッカー競技会、市民スポーツ祭で優勝した。愛知県高校新人では、女子テニス部・女子ソフトテニス部・陸上競技部が県大会出場で活躍した。特に、陸上競技部の山口が東海大会で200Mの種目で6位入賞を果たし、今後の活躍が期待される。

第55回 学校祭について

いくつかの公立高校において、学校祭は衰退の一途をたどっている。そんな中、熱高祭は55年の伝統を守り育て、今もって健在である。学校祭一般公開当日は1000人近い外部の人を迎え、生徒達は劇・踊り、さらに日頃の研究発表で精一杯自己を表現する。今年は正門前で、「不思議の国のアリス」をデザインしたゲート、野外ステージではシンデレラなど物語をメドレー風に組み込んだミュージカル、さらに体育館での劇が好評だった。多くの人を前に物怖じするどころか、さらに活力を増すところが熱高生の長所である。

もちろんこの華やかな熱高祭当日の裏には、数ヶ月にわたる準備期間がある。生徒会執行部・学祭委員会の提案・クラス討議・立案・実施、総括と続く。最近の高校生が不慣れとしている活動を地道にすすめていく忍耐力のいる時期である。楽しい事ばかりではない。仲間との対立も経験したり、自ら決めたルールをきちんと守ることなど簡単ではない。何でも上から与えられ、面倒を見てもらう受け身の姿勢で高校生活を送っている学校もある。それに対して、伝統の重みを感じながら熱高生は、自主自立をめざし将来にわ

たっても生きていく力を、この学校祭を通して築いている。
(青木 実)



▲文化祭 (吹奏楽部)



▲体育祭 (騎馬戦)

▼体育祭 (応援)



▼文化祭 (演劇)



▼体育祭 (応援)



▲体育祭 (縄とび)

第62回国民体育大会に出場して

佐藤 弘章

熱田高校同窓会のみなさま、国体・インターハイ出場時にご支援いただきありがとうございます。熱田高校に入学してからスピードスケートで3回、国体に出場しました。今大会ほど気持ちの面でも体の面でも真剣に調整したことはありませんでした。今回が高校生活最後で、どうにか期待にこたえようと、とにかく練習し、自信をもって大会にのぞみました。

大会初日、僕の出場した少年男子千メートル8組は、非常にレベルの高い敵が2人いて、追加は2人。僕を含めた3人で2つのいすを争うことになった。僕はレース序盤から先頭に出てレースを支配したが、残り5周で2番に下がり、残り4周で3番に。完全に相手の方が一枚も二枚も上だった。

次の日は五百メートル。僕の得意な種目だ。相手は昨日と全く同じ。リベンジするチャンス。五百はスタートがとても大事だ。僕はスタートで2位になることができたが、後から猛チャージをうけ続けていた。残り2周で相手が内側からきた。必死でおさえようと

してふんばったが、相手がバランスをくずして転倒。外側にいた僕もまき込まれた。ショートトラックではこういう妨害をうけると救済といって次のラウンドにいける。僕は救済を受けたが、転倒の際腰をフェンスで強打して歩くのが精一杯な状態。準々決勝はそのせいで、スタートでおおくれ思ったようなレースができなかった。

今大会は不運も重なりあまり思ったような成績がだせなかった。全国の強い相手におとつてはいないと思っっている。大学ではもっと練習して世界大会を目指したいと思う。



佐藤弘章くんは、第63回国民体育大会(長野県開催)で愛知県代表として、ショートトラック成年男子五千mリレー決勝に出場。7分31秒360で6位入賞(08.1.31 中日新聞)。

図書文化部の活動

多くの学校と異なり、熱田高校の図書文化部はその名称のごとく、図書館運営だけでなく、文化活動も行っている。

まず、図書の方では、三年程前から始めているのが、コンピュータ化である。書庫がないので蔵書数が多いとは言え、二万冊程の図書データの入力には時間がかかり、現在では半分程度終了している段階だ。また、懸案事項の一つが、よく

言われる生徒の活字離れである。本校の貸し出し冊数も平成十七年度の三〇五二冊以降、年々減少し、本年は二千冊を超えないだろうと思われる。そこで、図書館利用を促すために、毎月「図書館だより」や「新着図書案内」を作成し、配布、掲示をしている。十一月には、「図書館祭り」を開催し、オリジナルしおりプレゼント、映画上映会、本の配布会を行っている。こうした活動の中心

となっているのは生徒の図書文化委員会である。カウンタ係・コンピュータ係・整理係・活動係に分かれ、それぞれの役割を果たすとともに、それぞれのクラスとのパイプ役も担っている。

次に文化活動の方は、年に一回の文化鑑賞会の計画実施がある。音

楽・演劇、その他のジャンルという順番で行っている。ちなみに昨年は演劇の年で「GODZILLA」、本年は、その他のジャンルの年であり、日本古典芸能―落語・色物・講談―の鑑賞を行った。熱田高校卒業生の三遊亭円丈師匠、人間国宝の一龍斎貞水師匠の熱演を、生徒達は十分に堪能していたようだ。

また、本年度で四十三回目となる「熱田賞」も、図書文化部の担当である。絵画・立体作品・詩や小説の創作、人文科学部門の論文など、毎年多くの生徒の応募がある。熱田高校のよき伝統であるので、今後も継続したい。

まだまだ図書文化部の仕事は多種あり、地味ながら大変ではあるが、熱田高校の文化の一翼を担っているという自負のもとに、生徒と協力しながら日々活動している。

(浅野 朋子)

保健室から眺めて

養護教諭として働き出したときには一人で保健室で勤務していましたが、保健室の役割が重要視され、複数の養護教諭を配置することになり、本校も複数配置7年目を迎えます。今までは一人で執務することに慣れていたため、当初はとまどう部

分もありましたが現在では、もう一人の先生と楽しく仕事をさせていたでいています。

複数配置となり、生徒たちが二人の養護教諭をどのように感じているかアンケートをとったところ、「必ずどちらかの先生がいるので安心」「2人の先生がいて楽しい」と答えています。

熱田高校の生徒も「保健室は落ち着けるね」「保健室でしか話ができないことってあるよね」と話しています。毎放課来室する生徒や、自分だけを見て話しかけてほしい子、自分の症状をはっきり言えない子など様々な様相をみせ、私たちに期待を寄せてきます。

今回のこの会報を書く際に保健室はどんなところだろうと考えると、何故か母親のことが思い浮かんできました。口うるさいけど、遅く帰っても夕飯を必ず残してくれていた母親です。

もう一人の先生とともに生徒が安心して落ち着ける場所になるように少し口うるさいお母さんであるように、優しいお母さんであるように日々過ごしてゆきたいと思います。

(養護教諭 榊原千賀子)

定時制課程の今

平成十九年度入学者選抜より、すべての定時制課程で前期選抜と後期選抜が実施されました。前期選抜は全日制課程の入学者選抜とほぼ同じ時期に行われるため、定時制課程を第一志望にする人は、これまでよりも早い時期に進学先を決定することができるようになりました。

こうして、本年度は三十九名の新入生を迎えスタートしました。日々の学習活動とともに、五月には名古屋市民会館において『ミュージカル義経』を鑑賞し、六月のバレーボール球技大会、九月の映画鑑賞会、十月の体育祭と続き、生徒会を中心に生徒たちは特別活動にも熱心に取り組み、活気ある学校生活が展開されています。

(教頭 斎藤 昭宏)



球技大会

全国高校定通体育大会に参加して

定時制2年アルベス・マルシア「サチエさんへの激励金の支給ありがとうございました。」

6月の県大会で1000mハードル、2000mでの全国大会出場権を得てからは、通常の授業後の練習に加え、本大会(8月13・14・15日)までの夏季休業中も大会に備え、夕方5時から7時ころまで練習をしてきました。

さて大会結果ですが、8位入賞

はのがしましたが、2000mにおいては自己記録を更新し、準決勝へ進出。準決勝でもさらに自己記録を更新しました。決勝進出はなりませんでしたがあと一步と大健闘でした。

同窓会の支援も含め多くの方の支えがあつてのことと感謝しております。

(定時制陸上部

顧問 中山史信)



全国大会で活躍した
アルベス=マルシア=サチエさん



▲全国高校定通体育大会

会報基金寄付協力者

〔平成十六年七月十九日～十七年十二月二日終〕

集計 五八五名 七五二口 一、五〇一、〇〇〇円

(一) 数字同生・〇数字口数

- 〔1〕中野美恵子、大橋公子、石田正敏⑩、堀江洋子、中村洋二、山森しげ子、前田裕彦、大藪才子②、野々垣綱光、隅田武利、加藤勇夫⑬、波田忠、岩田司、佐々木元彦⑤、沢田延子、広田博成、梶田清子、三ツ口英子、佐藤八重子、近藤信子、都築節子、渡辺弘道⑤、山田稔③、伊藤幸正③、鬼頭達雄、〔2〕飯田邦子、伊藤園男、中野道孝③、橋本奈々子⑤、田中靖二、永田うた子、中里武夫、熊崎隆久②、田中一誠、寺脇千鶴、杉山仁子、植田照男、澤原文子、仙田純子、加藤厚生、杉本智恵子、水谷高信、渡辺恭子、榎原明美、〔3〕家田かな子⑤、野田好子⑤、加藤国章、富田富子、林みつる、橋本悦子、垣田安治、中野見夫、鈴木玉子②、前田浩子、竹内正、服部凱治⑤、服部つた子、宮田義憲、岩田尚道、岡村清治、小如昌子、山本尚史、大竹英雄、磯部正、村上萬里子⑤、林久子②、奥村薫、木村清、前川英子、とみ子、〔4〕熊崎茂登子、江村雅夫、鈴木武子、岡田敏次、豊田和弘、田中悦子⑤、杉本文代
- ②、志水美智子⑤、鈴木淑子、乙部憲司、山田光紀、高橋公子、石川喜男②、田嶋俊夫、嶋田尚代、高山文子、犬飼賢、〔5〕西山紀代、水野小夜子、安藤哲忠、柴田雅子、山崎比紗子、羽木哲三、前田重彦、戸田鎮子②、長谷敦子②、大原政和⑤、星野真紀子、西田和子、所園勝、野辺美智栄⑤、東通子、富田嘉明⑤、巻木日出子、安鈴久子、西川和之、鶴岡昭利、柴田関穂、〔6〕万前秀男②、加藤義昭、津田紀代子⑤、江村アヤ子、齋藤富子、堀敷夫、田辺孝子、玉津厚子、小林富美子、浅野恵美子、近藤邦碩、小谷みつる、稲生良造、山口正人②、稲垣雅則、平松裕子、北河清子、押村興治、木下サチ子、小椋妙子、赤池弘子、村瀬治子、中川裕之②、〔7〕伊藤武男、小島宏己、小林勝次、高見京子、佐野愛知③、西脇守、山川利恵、森田伸、近藤知子、寺井秀子、鍋山紀子、島山内枝、寺林省子②、三城恭彦、飯村房子、水原美智子、山田敏子、早川保子、近藤博泰、〔8〕水野高樹、加藤征義、後藤弘子、石川美登子、小森博之、歌見美代子、
- 甲田裕明、嘉屋苑子、大脇始、浜田希よ実、石崎進、小林重典、井上とし子、吉田照美、片田一之、〔9〕岩内昭子、壁谷禎敏、壁谷喜美、川合健治、塚田勝比古③、深水信子、保坂昌子、伊藤忠、赤池靖彦、蜂須賀聰太、田島義文⑤、坂野大義、森島正泰、小坂井利明、肆矢博恵、久田恵、土方好美、土方菊子、山田芳和、小嶋裕久、田中小夜子②、近藤久子、加藤勝、水野節子、〔10〕服部菊子、佐藤和之②、服部洋子、山田清彦、森公子、村松時夫、辻本枝美子、岡三枝子、八代宏、森瀬恭年、大原秀子、藤崎嘉也、原和宏、梶浦好弘⑤、手島富美子、〔11〕船橋普光、高松勇、青山和代、杉田弓子、森隆三、田中和枝、杉江和俊、水野淳子、高藤真子、富田千英子、浅井正満、西尾まさ子、安田慶治、戸町惇毅、岡村高司、開出弘子、〔12〕笠原ふさ子、坪内明美、内田美穂、若野紀雄、鍋島恵、内ヶ島敏博⑩、山田昌弘⑤、伊藤芳雄、風岡淑子、鬼頭研祥、土谷都子、宇佐美修、長瀬英幸、種村光一⑤、石川知子、立松芳晴②、安田力⑤、熊沢洋芳、岩城茂、戸町恭紀、〔13〕山北雅道、田中十四男、鈴木正一、水谷善行、大橋健次、山田周一、勝田俊治、森幸夫、山口哲生、森輝男、真木伸一⑤、柳瀬政子、花岡光男、森島加代子、伊藤まさ美、鈴木憲文、佐藤守男、大塚愛子、山口哲史、西村敏康、尾中孝枝、宮本久美子、鬼頭文隆、上村民雄、福田恵子、寺本孝、天野王雄②、加藤裕二、吉田茂雄、〔14〕佐藤正治、赤塚好章、小野木正和、水田健一、各務公晴、猪子幸生③、小林夕美、豊田貫司、柘植忠介、〔15〕中野邦彦、市橋雅之、中嶋恵利子、吉金洋子、川瀬義彦、中川鋭彦、近藤直弥、内藤守、大洞亮治、太田千栄子、鈴木俊一郎、村上たす子、石田直城⑤、小林久芳、佐藤典昭、疇地若世、北岡まり子、小川多津子、折原千恵子、柴山哲朗、坂口美代子、小石稔、神谷和雄、木村千明、〔16〕市野勝俊、吉川洋子、早矢仕芳昭、竹田文子、林陽子、山本美恵子、佐野直美、石原泰、川口浩司、川口裕美、中西美千江、伊藤俊夫、水友弘子、新田水子、伴和子、武田健治、龟田佳江、水谷明美、北野豊、林佳史、〔17〕三宅大浄、布目千尋、水谷昭美、永嶋富士夫、岡田雅仁、田中光久、加藤義和、倉知好弘、吉田光男②、日下部輝子、宇佐美泉、青木一賢、中沢恒男、日比野昭雄、村瀬雅美、植田洋二、武藤利恵子、木下佳男、朝見文子、服部都、星野博史、岩田公光子、伊藤登、〔18〕広船吉之、橋本淳一、野田雅通、中垣修②、澤木美雪、村岡正和、川井加代子、水野典子、白崎大介②、山口直彦、藤田早苗、〔19〕
- 玉置妙子、伊藤一恵、生川郁子、大西元之、大沢豊③、篠田久恵、伊藤清美⑤、田中邦子、村松洋子、今井勝、木村隆秀⑤、新海美佐保、卜部しのぶ、氏原直樹、氏原真理子、大野政幸、黒石武夫②、木村浩⑤、中島康謙⑤、〔20〕Count 千江子、松崎道夫⑤、中村友一、松倉由美子、足立裕子、江木満彦、大月一史、上田真理、伊藤茂行、中山武彦、江坂文恵、岩森秀和、川口久美子、鶴見祥子、〔21〕森京子、伊藤元裕、佐々木博、尾崎由美子③、金子広子、村上恵子、角田由利江、伊藤公英、伊藤浩二、水野洋子、服部雅則、下野よしえ、〔22〕岩田圭司、市川瑞恵、山中菊江、三宅孝明、安藤紀子、浅野豊志、住田崇晃、水谷剛子、青山伸彦、井上公美、佐藤憲詞、布施和江、宮脇己佐子、〔23〕伊藤嘉雄、猪子里美、佐々木奈穂美、金森みどり、加藤京子、岩本渡、中川久、相原喜子、伊藤佳高、片岡りつ子②、三浦百合子、奥村みどり、児玉洋美、〔24〕酒井真治、岡本和也、鎌倉和美、葛谷律子③、鈴木えり子、高山文子、山崎美与、長谷川裕子、伊藤敏恵、〔25〕石川鉄馬、西村静代、金井智子、池松宣浩、三輪千絵、沖山之枝、早坂和哉、〔26〕小椋真奈美、小嶋香、河柳美代子、会田茂樹、鶴見恵、加藤真弓、若松義浩、小野章子、石川敏浩、一力君枝、小島朱美、

夏目鉄司、鈴木美紀、〔27〕岡野利昭、石倉美佐紀、松浦和代、横井昌司、吉田さつき、杉本喜信、石橋正代、安井文規、〔28〕武儀山誠治、森久厚徳、清水尚美、児玉祥江、竹本香織、宮川佳奈子、鈴木浩二、加藤誠幸、〔29〕広中幾子、斉田あゆみ、酒井慎二、近藤和美、〔30〕北川淳、芝淵理更、野村明宏、〔31〕水谷木綿子、西村由香⑤、山田真智子、山本政広、小島亮一、〔32〕下村滋子、大須賀均、大矢浩司②、鈴木みつゑ、田上寿美代、〔33〕南仁史、池之上明美、林利哉、武市正宏、〔34〕稲村大輔、小塚潤、犬飼篤実、肆矢磨理、吉松紀子、〔35〕浅井明子、巻木裕二、〔36〕新井結香子、〔37〕文倉大志、安部香里、横江政憲、園田弘昭、久野敦司、栗田香子、〔38〕小沢太一、新井邦仁、梶田理子、亀田喬子、〔39〕加藤牧子、糸原徹、川崎貴嗣、貴田慶太郎②、齋藤鈴恵、〔41〕林崇昂、〔42〕加藤聡、〔43〕有家和美、高橋孝典、坪沼絢子、〔44〕梅本寛、森綾香、並松鏡友、〔45〕千葉健次、高瀬武仁、浅野歩、神谷英孝、〔46〕山田諭、斉藤史人、岡谷康典、〔47〕長江真克、加藤まなみ、鯉江泰広、杉澤利佳、〔48〕加藤肇、佐々木瑠美、矢野敦也、奥山泰弘、長谷川ゆう、浦田裕太、谷井康彦、本田大典、伊藤隆之、佐藤宏美、青木香織、中村さと佳、保坂洋亮、荒川知

子、三品善輝、松井美美、川端優作、水野俊哉、浅野唯、木村正寿、〔49〕中野謙、武田摩里耶、山本貴之、水田匡俊、大沢岳人、佐々木建太、加藤優香、尾崎旭、渡辺貴大、桑田麻衣、津阪朋宏、加藤鎮、和田悠希、小寺康介、米村祥吾、高橋啓②、鎌田康弘、磯谷美佳、河合健太郎、〔定時〕山口幸子、熊谷豊、広瀬幸子、永井千恵子、音辻鶴子、伏木野新一郎、児玉素枝
 (敬称略・順不同)

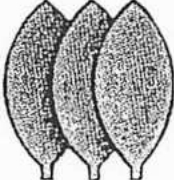
〔歴代職員〕 加藤博、〔1〕佐々木元彦、前田裕彦、伊藤幸正、高橋勝人、〔2〕橋本奈々子、中野道孝、〔4〕大矢啓蔵、鈴木武子、豊田和弘、児玉浩子、〔5〕西田和子、大屋政和、長谷敦子〔6〕堀勲夫、万前秀男、山口宏夫、〔7〕小林勝治、山田絃子、〔8〕井上亜夫、〔9〕田中小夜子、田島義文、〔10〕原田浩吉、〔11〕中村日出夫、〔12〕中原美恵子、山田正次、〔13〕山口啓、〔15〕林幸春、伊藤大英、〔19〕木村隆秀、〔20〕下村常夫、〔22〕伊藤哲、〔23〕安井昭夫、山口満、〔24〕中島悟、〔26〕夏目鉄司、小崎広治、畑中正憲、〔27〕岡野利昭、水谷光宏、三矢栄治、〔29〕池内信康、〔39〕拜郷良輔、齋藤鈴恵、〔42〕森尚仁、〔48〕吉田和弘、

**55周年会員名簿
賛助金ご協力者一覧**

55周年会員名簿 協賛広告掲載一覧	
一般	鶴飼鋼材販売(株)
一般	エレクトロヒシキ(株)
一般	(株)久米電機
一般	コペルコ・コンプレッサ(株)中部支店
一般	(有)佐藤工業
一般	(有)誠和クレーンサービス
一般	中部三菱自動車販売(株)
一般	名古屋国際ホテル
一般	濃尾機電(株)
一般	(有)魅秋商店
一般	マルマン商事(株)
一般	三菱電機FA産業機器(株)中部支店
1回生	佐々木元彦 (株)テックササキ
1回生	〃 エアーインフラ(株)
1回生	〃 テクノプレーン(株)
1回生	〃 (株)テックメンテナンス
1回生	大藪 才子 (株)大清
3回生	岩淵 正憲 (株)岩淵熱機電
3回生	林 政夫 林商店
4回生	伊藤 邦彦 セプト(株)・(有)伊藤塗料店
4回生	永坂 秀和 熱田ブロック(株)
4回生	幹事 江村 雅夫
4回生	熱田OB会ゴルフコンペ歴代優勝者
4回生	江村 雅夫 中部ユニフォーム(株)
4回生	犬飼 賢 (株)オオタカ
4回生	田中 省三 電子システム(株)
4回生	山下 護祐 (株)山下工作所
4回生	三輪 金久 泰文堂書店
5回生	富田 嘉明 (有)協同プラスチック
6回生	小島 治夫 小島獣医院
7回生	山下 富江 (株)大和電機製作所
8回生	水野 尚樹 うな富士
10回生	杉山 交世 丸和機械(株)
10回生	内藤 明広 丸五木材(株)
10回生	近藤 一磨
12回生	ハーツカネ ショウ (資) 近藤商店
12回生	今井 康幸 (株)今井総本家
12回生	西脇 良一 (有)西脇蒲団店
12回生	山田 省三 名北魚市場(株)
12回生	森田 文二 (株)モリタ
13回生	剣道部 真木 伸一 剣友会
13回生	真木 伸一 (株)マキテック
13回生	花岡 光男 花岡光男
13回生	市橋 雅之 (株)大和工芸
15回生	神谷 和雄 (株)歌舞伎館本舗
16回生	伊藤 武博 たから写真館
17回生	柿崎 賢一 (株)カーネルコンセプト
18回生	山口 直彦 フルハシ工業(株)
19回生	氏原 直樹 (株)ジェイ・エヌ・エス
19回生	寺岡 洋一 由良海運(株)
19回生	小坂 芳則 名果(株)
21回生	佐々木 博 バイクショップ君助
21回生	津坂 巖 津坂巖事務所
23回生	西川 隆 正色設備
26回生	玉岡 宏光 (株)玉岡設計
26回生	近藤かをり B'shu (ビシュ)
27回生	大矢 佳枝 大矢洋服店
31回生	溝口 京子 フラワースクール京花
35回生	佐々 昌夫 (株)佐々テニス企画
定8回生	高橋 孝次 (有)ケイアンエフ

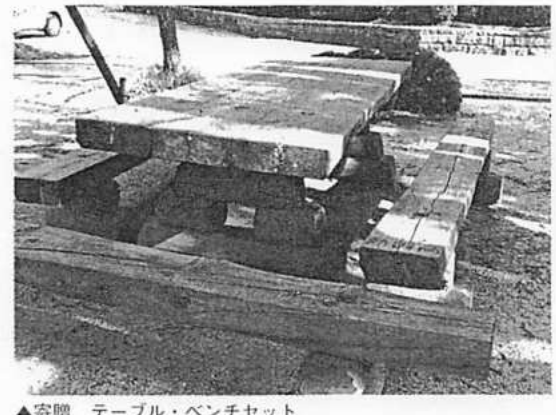
題字 初代書道教諭 故名郷柴山先生

ある人間、気力ある生活人、健康なる日本人を、また、全体にはきよき森を表わして、心の啓示と願っている。



堂章

りは、堂章のみど
を型どった三
本の木々に、
本校が教育目
標とする品格



会員名簿
あ

2007

熱田高同窓会

2007年版 会員名簿▶